

# 国 語

## 注 意

1. 問題は全部で15ページである。
2. 解答用紙は(その1)(その2)がある。(その1)はマーク・シートになっている。
3. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
6. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

### マーク・シート記入上の注意

1. HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
---	----------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

— 次 の 文 章 を 読 ん で 、 後 の 間 に 答 え よ 。

二一世紀に入り、ヨーロッパをはじめ世界各地でポピュリズム（ポピュリスト）と呼ばれる政治運動や政治家が影響力を増している。このポピュリズムについては、日本の新聞をはじめとする有力メディアでは「大衆迎合主義」といった訳語や説明を添えるのが普通である。もちろん、見慣れないカタカナ語を用いるさいに、意味を汲みとった日本語の説明を添え、読者の理解にキョウ<sup>ア</sup>ウ<sup>キョ</sup>することは必要であろう。ただし、「ポピュリズム」に「大衆迎合主義」という訳語を付すことが、本当に適切なのか。①

ポピュリズムという言葉は一九世紀末、アメリカ合衆国で誕生した人民党（Populist Party）に由来する。南北戦争後のアメリカでは経済が発展を遂げ、巨大資本が成立する一方、その繁栄から取り残された中西部の農民層や都市部の労働者層の困窮もあらわとなる。この農民や労働者を母体として結成されたのが、人民党である。人民党は、経済を独占的に支配する巨大企業、金権政治に浸かった既成の民主\*共和党の二大政党を激しく批判した。「アメリカを建国以来支えてきた本来の人民」がないがしろにされていると説き、大統領選挙に候補者を擁立し、とくに中西部や西部の農業州で支持を集めることができた。これに対し、民主党がその要求を取り入れて取り込みを図ったことなどから、人民党は次第に求心力を失い、政党としての活動は一〇年程度にとどまった。とはいえ人民党がアメリカ政治に与えたインパクトは大きく、その歴史的記憶は今も残っている。<sup>1</sup>

ポピュリズムが全面的に開花したのは、二〇世紀中葉のラテンアメリカであろう。アルゼンチンのペロン、ブラジルのバルガスをはじめとして各国で、ポピュリスト指導者が民衆の強い支持を受けて政権を掌握した。植民地由来の圧倒的な社会経済的な格差が残り、大地主や鉱山主ら一部の富裕層が独占的に支配してきた従来の政治に対し、これらのポピュリストたちは労働者や農民、中間層、下級将校などを支持基盤とし、閉鎖的な既成政治の打破を志向した。具体的には欧米系の資本を排した国内産業の育成、基幹産業の国有化、社会政策の充実、ナシヨナリズムの称揚などが進められた。<sup>2</sup>

一九八〇年代以降になると、ポピュリズムの主要な舞台はヨーロッパ諸国に移行する。特に冷戦終結後、既成政党を批判し、ヨーロッパ統合の進展に異議を申し立て、移民や難民の制限を訴えるポピュリズム政党が次第に支持を集めるようになった。

\* マリーヌ・ルペン率いるフランスの国民戦線が最も知られているが、オーストリアのオーストリア自由党、オランダの自由党、デンマークのデンマーク国民党、ノルウェーの進歩党、スイスの国民党などは、国政選挙でもかなりの議席を獲得している。またドイツにおける「ドイツのための選択肢」、イギリスの英国独立党など、ポピュリズム政党は今や、西欧のほとんどの国で存在感を発揮しているといえる。②

これらのポピュリズム政党は、特にその激しい反移民、反イスラムの姿勢にみられるように、右派に属することが多い。彼らは既成の政党や官僚、労働組合などの既存の団体が政治を独占していると主張しつつ、移民や難民はそのリベラルな政治エリートによって不当な保護を受ける存在と位置づけ、その「特権」を批判し、排除を訴える。既成政治に対する不満のはけ口として、移民や難民が格好のターゲットとなっている。

他方、ヨーロッパの南部では、右派とは言えないポピュリズム政党が支持を集めている。スペインのポデモス、ギリシャのシリザ、イタリアの五つ星運動などは、やはり厳しい既成政治批判、EU批判で台頭したが、反移民を掲げているわけではなく、むしろ左派的姿勢をとる。③

国によってバリエーションがあるとはいえ、右派と左派、双方のポピュリズムに共通する背景として挙げられるのは、既成政治に対する不信の高まり、EUに対する信頼性の低下である。

振り返れば、二〇世紀のヨーロッパ政治においては、左右それぞれに有力な政党が存在し、それらの政党は大衆的な党組織、そして労働組合や農民団体、信徒団体といった支持基盤に支えられ、安定的に選挙で票を獲得してきた。個々の有権者は、何らかの団体に属し、その団体の支持する政党に投票するという構造が成立していたのである。④

しかし今や、既成政党のほとんどは党員の減少、党活動の停滞、支持団体の弱体化に悩まされている。政党の手足となってきた支持団体も、個人のライフスタイルの変化、アイデンティティーの多様化のもと、もはや政党を支える盤石の支持基盤たり得ない。いわば既成政党がその「代表性」を喪失しつつある中で、ポピュリズム政党は既成政治を一握りの旧来のエリートによる独占物として描き、既成政党に飽き足らない無党派層の支持を集めている。

二〇一七年に死去したフランスの思想家、ツヴェタン・トドロフは、ポピュリズムについて、「右」や「左」である以上に「下」に属する運動である、としている。既成政党は「上」の存在であり、その「上」に対する「下」の対抗運動がポピュリズムである、というのである。政治的対立といえは「右」対「左」というのがこれまでの常識であったが、それは二〇世紀型政治における常識であつて、二一世紀においては、「右」と「左」という軸に、「上」と「下」という新たな次元が加わつたということなのかもしれない。

同様の構図は、二〇一六年のアメリカ大統領選挙についてもあてはめることもできよう。すなわち、「右」の「上」に属するのがジェブ・ブッシュユラ共和党主流派であり、「左」の「上」にはヒラリー・クリントンら民主党主流派が位置する。これに対し「右」の「下」には、ラストベルト(さびついた地域)の労働者層などから強い支持を得たドナルド・トランプ、そして「左」の「下」には、公立大学の授業料無償化など、社会的平等の実現を重視したバーニー・サンダースが位置づけられよう。トランプ現象とサンダース現象は、いわば合わせ鏡のように、グローバリゼーションを容認する既成政治に対するアンチテーゼとして支持を集めた。それは共和党、民主党それぞれの従来の路線から大きく外れるものであることから、いずれも主流派からは批判されたが、両者とともに、「下」の支持を得ることで主流派を脅かす候補者に勝ち上がることとなつた。

以上のようにポピュリズムの歴史的展開、そして現代における位置づけを踏まえたくうえで、ポピュリズムが「大衆迎合主義」といえるのかを検討してみよう。⑤

第一は、「大衆迎合主義」という言葉自身の持つ、明らかに否定的な意味合いである。「迎合」とは a を意味することから、「大衆迎合」は「広く人々の望んでいること」に a になるか。そのような政治のあり方が望ましくないことは、いうまでもない。しかしそのようにメディアがポピュリズムを「望ましくないもの」「避けるべきもの」<sup>3</sup>、さらには「克服すべきもの」として最初から否定的に位置づけることに、問題はないだろうか。

ポピュリズムは自国第一の排外主義だから、否定的に扱つてよいという見方もあるだろう。確かに移民や外国人、エスニックマイノリティーを排除しようとする排外主義が望ましくないことは私も強く同意するし、批判の対象とすることに異存はない。他方、ポピュリズムが排外主義を必ず含む政治運動である、ともいえない。ラテンアメリカにおける左派ポピュリズム、アメリカ

カにおけるサンダーズ<sup>サウゼン</sup>、スペインのポデモス、イタリアの五つ星運動などを見ても明らかのように、左派系のポピュリズムは排外主義とは明らかに異なる立場に立つ。ポピュリズムが反エリート運動であるとすれば、その主張の中心部分に排外主義が位置づけられるかどうかは各国の文脈によるところが大きく、「ポピュリズムはそもそも排外主義だから批判すべきだ」という議論は成り立たないだろう。

ポピュリズムに拠らない排外主義は、現実にはいくらでもある。年間数十人しか難民を認定しない、他の先進諸国に比べて極めて厳格な日本の入国管理は、マリーヌ・ルペンによって **b** の対象になっているが、これはポピュリズムとは無関係である。むしろ「制度的な排外主義」ということになるか。結局のところ、 **c**、ということではないかと考える。

第二は、その否定的な意味合いは別にして、ポピュリズムは大衆に「迎合」しているといえるのか、という問題である。大衆迎合という言葉から連想されるのは、政治家が本来のあり方をまげて人々の目の先の欲得にすり寄る姿である。自らの当選を最優先し、受けのいい言葉を発してばらまきに走る。たとえば財政状況が危機に<sup>エ</sup>ヒンしているにもかかわらず、幅広く選挙民の受けを狙って減税やばらまき型支出を先頭に立つて行う政治家や政党があれば、それは大衆迎合といえるだろう。

しかしポピュリズムが現実の政治に持ち込んでいるのは、広く大衆受けを狙ったばらまきというよりは、エリート批判を通じた敵しい既成政治に対する否定であり、その結果としての「分断」である。ポピュリズムは左右いずれのポピュリズムであっても、既得権益を一種の「敵」と見なし、「普通の人民」に依拠してその「敵」との闘いを呼びかける。そこで生じているのは「迎合」というよりはむしろ、「煽動」に近い<sup>5</sup>。その意味でポピュリズムに対し、それが「大衆煽動的」であるという批判を投げかけることは可能だろうが、それは「大衆迎合」に対する批判とは、質的に異なるものといわざるをえない。

それではポピュリズムという英語の言葉が、英語の辞書ではどのように説明されているのかをみてみよう。オックスフォード英語辞典やメリアム・ウェブスター英語辞典は、ポピュリズムについて、アメリカの人民党を例として挙げながら、「普通の人々の利益を代表しようとする」「普通の人々を代表すると主張する」「政党（の政策や原則）としている。また、アメリカンヘリテージ英語辞典は、「特権的エリートに対抗する人々の権利と権力を支持する政治哲学」としている。エリートに対する民衆の対抗

運動であることを重視する点では、これが本稿の立場に最も近い。

いずれにせよ、これらの英語辞書の説明を見る限りでは、ポピュリズムが大衆に「迎合的」という意味合いは出てこない。それが真に人々の利益を代表しているかは別にして、「人々を代表すると主張する」政党や思想がポピュリズムである、というにとどまる。ここでは、ポピュリズムが人々に「迎合」する、a であるかについては定かではない。またポピュリズムが望ましいもの、あるいは望ましくないものといった評価も読み取ることができず、その意味では d 説明といえる。そうだとすると、「大衆迎合主義」という日本のメディアにおける説明は、価値判断を含む、やや踏み込んだものであるといえるだろう。

(水島治郎「ポピュリズムは「大衆迎合主義」か」より)

\*民主党・共和党Ⅱアメリカの二大政党。共和党は保守主義的政策を掲げ、逆に民主党は多文化主義、寛容政策などを探るリベラルな政党だと概括される。外交政策について共和党の自国主義、民主党の協調主義、経済政策について共和党の企業優先、民主党の国民優先など政策的な方向の違いがある。

\*マリーヌ・ルペン率いるフランスの国民戦線Ⅱヨーロッパの右派的ポピュリズム政党のさきがけとなったフランスの党。移民に対する不寛容、自国至上主義などを打ち出し、しばしば極右政党と見なされてきた。

問一 波線部ア「キョウする」を漢字にする場合に最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 1

- ① 娶する      ② 叫する      ③ 協する      ④ 恭する      ⑤ 供する

問二 波線部イ「盤石」の読みをひらがなで記せ。解答用紙(その2)を使用。

問三 波線部ウ「センブウ」を漢字にする場合に最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 2

- ① 扇風      ② 鮮風      ③ 先風      ④ 戦風      ⑤ 旋風

問四 波線部エ「ヒンして」を漢字にする場合に最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **3**

- ① 賓して                      ② 頻して                      ③ 瀕して                      ④ 稟して                      ⑤ 貧して

問五 「現代のポピュリズム政党が右派であるとは限らないのである」という文を本文の中に補うとしたらどこが適切か。最適な位置を、文中の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **4**

問六 波線部「その歴史的記憶は今も残っている」とあるが、その記憶の内容として最適なものを、次の①～⑥から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **5**

- ① 建国の理念に訴える伝統主義  
② 移民を排除しようとする排外主義  
③ 自ら声をあげることによしとしない農民主義  
④ 経済、制度、文化的な面に渡る自国中心主義  
⑤ 権力を独占してきた既成勢力に対する反抗心  
⑥ エリート政治家が常に少数派を黙殺すること

問七 波線部「植民地由来の圧倒的な社会経済的な格差」とあるが、これに対処する政策として最適なものを、次の①～⑥から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **6**

- ① 基幹産業を国有化する。  
② 社会政策の充実をはかる。  
③ 欧米系の資本を排した国内産業を育成する。  
④ 労働者、農民、中間層、下級将校などを優遇する。  
⑤ 大地主、鉱山主ら一部富裕層の独占状態を解体する。  
⑥ 雇用を増やす可能性のある外国資本の参入を支援する。

問八

a

が文中に三か所あるが、これに入る語句として最適なもの、次の①～⑥から選び、記号をマークせよ。解

答欄番号は 7

- ① おもんばかりこと
- ② 思いやること
- ③ いどむこと
- ④ からむこと
- ⑤ おもねること
- ⑥ いたわること

問九 傍線部3「そのような政治のあり方が望ましくないことは、いうまでもない」とあるが、その理由として最適なもの、次

の①～⑥から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 8

- ① 大衆に迎合する政治は外国人差別を助長し、自由や人権を損なうから。
- ② 大衆は一般的に政治についての専門的な知識や経験を持っていないから。
- ③ 現在は、大衆の生活が以前と違って十分に豊かになっているから。
- ④ 大衆は知名度や人気などの非政治的な動機から政治家を選びがちであるから。
- ⑤ 大衆受けのする言葉で目先の欲望に訴える政治は、大局的には危ういから。
- ⑥ 従来の政治は大衆の思いを十分にくみ取ることができていなかったから。



問十 傍線部4「その主張の中心部分に排外主義が位置づけられるかどうかは各国の文脈によるところが大きく」とあるが、その

説明として最適なものを、次の①～⑥から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 9

- ① 現代ヨーロッパの反エリートの的心情は、排外主義となじみやすい。
- ② 移民と共生してきた大衆は、本来ならば排外主義を受け入れるはずはない。
- ③ エリート集団にとつて、移民、外国人、エスニックマイノリティーは縁遠い存在である。
- ④ 政治指導者よりも大衆の方が、人種差別は決して許されないことをよく理解している。
- ⑤ ヨーロッパにおいて、反エリート運動と排外主義とが結びつくのは全くの偶然にすぎない。
- ⑥ 国ごとのさまざまな政治的要因によって、政治的な思想や心情のあり方は違ってくる。

問十一

- ① 拒絶    ② 賞賛    ③ 非難    ④ 忌避    ⑤ 利害    ⑥ 検討
- b に入る語句として最適なものを、次の①～⑥から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 10

問十二

- ① c に入る文として最適なものを、次の①～⑥から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 11
- ② 排外主義は日本の場合にはあてはまらない
- ③ 排外主義はいかなる場合にも許されないというわけではない
- ④ 排外主義はヨーロッパのポピュリズムにのみ見られる特殊な現象にすぎない
- ⑤ 排外主義は排外主義それ自体としてきちんと批判すべきだ
- ⑥ 排外主義はいかなる国、いかなる地域にも見られる現象である
- ⑦ 排外主義は冷戦以後の世界に現れたきわめて現代的な現象である

問十三 傍線部「煽動」について、その類語については①、そうでないものには②を、それぞれマークせよ。

・はしゃぐこと(解答欄番号は )

・あおること(解答欄番号は )

・そのかすこと(解答欄番号は )

・たきつけること(解答欄番号は )

・鼓舞(解答欄番号は )

・激励(解答欄番号は )

問十四  に入る語句として最適なものを、次の①～⑥から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

① 無責任な

② 不明瞭な

③ 難解な

④ 及び腰な

⑤ 中立的な

⑥ 八方美人な

問十五 筆者の考えと一致しているものには①、一致しないものには②を、それぞれマークせよ。

- ・ポピュリズムそのものはよいとも悪いともいえない。(解答欄番号は 19)
- ・ポピュリズムは大衆の意思を反映する点でよき政治動向である。(解答欄番号は 20)
- ・大衆に迎合する政治は望ましいものとはいえない。(解答欄番号は 21)
- ・ポピュリズムは政治的対立軸の転換を告げる現象である。(解答欄番号は 22)
- ・大衆迎合主義という訳語は説明の必要上やむをえない。(解答欄番号は 23)
- ・どのような訳語も必然的に原語の意味を歪曲してしまう。(解答欄番号は 24)

二 次の文章を読んで後の問に答えよ。

今は昔、主君の御子息、ことのほかの荒者<sup>\*</sup>にて、町人<sup>\*</sup>をみせつけ、百姓をおどし、喧嘩好きして悪行をいたすことかぎりなし。浮世坊<sup>\*</sup>ひそかにいさめ申しけるやう、「およそ人の子たる者は、あるいは文学の道、あるいはおのれおのれの家業につき、人にほまれを取り、家をもおこし、我が身を立てて、未久しく栄えんこそあらまほしけれ。」<sup>2</sup>たとひその親によく仁義の道をつとめて、もしいは一国一郡の主となり、政すなほに恵みひろく行はれ、人みなその跡をしたひ、その恵みをかたじけなう喜びしも、その子として世を継ぎて、行ふところ道にたがひぬれば、親のほどこしける仁政の恵みまでも、いたづらになきがごときになりゆくなり。<sup>4</sup>いはんや、我が身もつひに滅ぶべし。唐土<sup>5</sup>に狄仁傑<sup>\*</sup>とて、政正しき人あり。魏といふ国の預かりとなり、国中に仁政をほどこし、百姓をあはれみ給ひしかば、民この恵みにほこり、そのうるほひを尊みけり。狄仁傑すでにむなしくなり給ひしかば、民その別れを嘆き、狄仁傑を木像に作り、社を立てて神にいはひ、敬ひ慎みてまつりけり。その子に狄景暉<sup>\*</sup>といふ者、すなはち魏の国の司功参軍となりて、百姓をむさぼり、臨時の課役をかけて金銀をかすめとり、年貢は少しも許さず、もぎ取りこき取り、鷹狩の遊びに田畠を荒らし、民を苦しめけるほどに、村里かしげおとろへ、田地を売り妻子を沽却<sup>\*</sup>しければ、各々うれへ嘆きて、狄景暉を憎みうとみはてて、狄仁傑の社をこぼち、その木像を引き出して大路にさらしけり。これひとへに、その子の悪しき行ひの、なき世の父におよびけるためしなり。よくよく心得給へ」といふ。

御子息聞こし召され、大いに無興<sup>\*</sup>し給ひ、浮世坊が頭の禿<sup>は</sup>げて侍りければ、「何を禿めが異見<sup>7</sup>がましき申しごとかな。生禿<sup>いまたげ</sup>の入道かな」と仰せられしに、浮世坊申していはく、「さのみに禿をしかり給ふな。禿をしたらぬ本歌の侍るぞかし」と申す。「その歌は誰の詠みけるぞ」とのたまへば、「源の俊頼朝臣<sup>あそん</sup>の歌に、

うかりける人を初瀬の山おろしはげしかれとは祈らぬものを

と侍る時は、禿をばさやうに叱らぬものにて候」といへば、大笑ひになりてやみぬ。

(『浮世物語』による)

〔注〕

\* 荒者 〓 乱暴者。

\* 町人をみせつけ 〓 町人をいじめ。

\* 浮世坊 〓 主君に仕えるお伽衆。この物語の主人公。

\* 狄仁傑 〓 中国唐代の名官僚。

\* 司功参軍 〓 唐代の地方官。

\* かしげおとろへ 〓 生気を失って衰え。

\* 沽却 〓 売り払うこと。

\* 無興 〓 不機嫌になること。

\* 源の俊頼 〓 平安時代後期の歌人。『金葉和歌集』の撰者。

問一 傍線部1「いさめ申しけるやう」の意味として最適なものを、次の①～⑤の中から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

25

- ① 説明申し上げたことには
- ② 忠告申し上げたことには
- ③ あきらめて申したことはない
- ④ お勧め申したことはない
- ⑤ 同情申し上げたことには

問二 傍線部2「あらまほしけれ」の意味として最適なものを、次の①～⑤の中から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **26**

- ① うれしいことだ
- ② 気がかりなことだ
- ③ 残念なことだ
- ④ 嘆かわしいことだ
- ⑤ 望ましいことだ

問三 傍線部3「たとひ」が受ける分節を、次の①～⑤の中から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **27**

- ① 主となり
- ② したひ
- ③ 行はれ
- ④ つとめて
- ⑤ 喜びしも

問四 傍線部4「いはんや」の意味として最適なものを、次の①～⑤の中から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **28**

- ① 言うまでもなく
- ② さらに進んでは
- ③ どちらかといえば
- ④ もしかすると
- ⑤ 悪くすれば

問五 傍線部5「唐土に」で始まる逸話はどこまでか。逸話の末尾の五文字を抜き出せ(句読点は含まない)。解答用紙(その2)を使用。

問六 傍線部6「その子の悪しき行ひの、なき世の父におよびけるためしなり」の意味として最適なものを、次の①～⑤の中から

選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 29

- ① その子の悪行が、死んだ父にまで影響を及ぼしたという例である。
- ② その子のよくない行為が、死んだ父の成仏を妨げたという先例である。
- ③ その子の悪い所行は、死んだ父のたたりがもたらしたものであった。
- ④ その子のよくない振る舞いは、亡き父の先例にならったものである。
- ⑤ その子の悪い行いは、亡き父をあゝの世でひどく悲しませたということである。

問七 傍線部7「異見がましき申しごと」のここでの意味として最適なものを、次の①～⑤の中から選び、記号をマークせよ。解

答欄番号は 30

- ① 身の程知らずな提案
- ② 利口ぶった演説
- ③ 批判めいた差し出口
- ④ 意味のわからない発言
- ⑤ 非常識な願いごと

問八 傍線部 8 の部分は、和歌の中で A の意味で用いられている「はげしかれ」を、「禿叱れ」の意味にとりなした冗談である。A に入る説明として最適なものを、次の①～⑤の中から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 31

- ① 激しかっただろう
- ② 激しかったら困る
- ③ 激しくあつてほしい
- ④ 激しく吹かないでおくれ
- ⑤ 激しくなければならぬ